

# あんじょう 市議会だより

3月定例会



安城・半田両市の新美南吉生誕百年記念事業について意見交換会を開催しました

## 平成25年は新美南吉生誕百年



リニューアルされた新美南吉記念館(半田市)を視察しました



南吉作品をモチーフとしたウォールペイント(安城駅西駐車場)

### 3月定例会のあらまし

平成25年第1回安城市議会定例会を3月4日～22日に開催しました。

提出された「平成25年度安城市一般会計予算」など48案件を原案どおり可決したほか、報告案2件が報告され、同意案1件を同意しました。

5日の代表質問、6日・8日の一般質問では、15人の議員が市政の各方面にわたり質問しました。

本会議の詳しい内容は、市公式ウェブサイトの「市議会のページ」または6月上旬から市役所市政情報コーナー・中央図書館に設置する「会議録」をご覧ください。

### 目次

- 2 主な議案
- 3 主な議案質疑、委員会の審査
- 5 議案などの審議結果
- 6 代表質問のあらまし
- 8 一般質問のあらまし
- 11 全員協議会・委員会の主な活動状況  
議会改革検討委員会から答申
- 12 6月定例会の開催予定ほか

主な議案

平成25年度当初予算を可決

平成25年度当初予算規模は、一般会計では、前年度比0.7%増の571億円となりました。また、一般会計、各特別会計、水道事業会計を合わせた全体予算額は、前年度比0.6%減の92億1800万円となりました。

※詳しい内容は、広報あんじょう4月1日号をご覧ください。

平成24年度3月補正予算14億8200万円余を増額

一般会計では、総額23億700万円余を増額しました。人件費の減額や事業費の確定による不用額などの減額と、基金への積み立てや国の緊急経済対策関連費用などの増額をしました。

また、特別会計9会計と水道事業会計の合計で8億2400万円余を減額しました。歳出の主な内容は次のとおりです。

■一般会計

●総務費 5億5900万円余増 / 財政調整基金積立金などの増額、職員人件費、市税などの過年度還

付金などの減額

●民生費 4300万円余減 / 職員人件費、安祥福祉センター建設工事費などの減額。障害者入所・通所支援事業、障害者ホームヘルプ・ショートステイ・グループホーム事業、中部福祉センター駐車場用地取得費などの増額

●衛生費 2500万円余減 / 予防接種事業などの減額。中間処理施設用地取得費などの増額

●農林水産業費 6900万円余増 / 県営農業用水再編対策事業負担金の増額など

●商工費 2億1800万円余減 / 企業再投資促進事業補助金などの減額

●土木費 14億3700万円余増 / 中心市街地拠点施設整備基金積立金、桜井区画整理区域内8号公園整備工事費、南明治第一・第二土地区画整理事業、新田住宅耐震補強工事費の増額など



土地区画整理事業で造られた道路(市役所東側)

●教育費 6億8900万円余増 / 市立学校施設整備基金積立金、小・中学校トイレ改修工事費、安城西部小学校校舎改修工事費の増額など



スロープ化された昇降口(安城西部小学校)

●国民健康保険特別会計 1億2500万円余増 / 療養給付費、高額医療費の増額など

●桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計 4億2800万円余減 / 道路築造工事費の減額など

職員退職手当支給条例等の一部改正

職員の退職手当を国家公務員に準じて引き下げるものです。平成25年4月1日から段階的に引き上げます。

市税条例の一部改正

個人の市民税の寄附金税額控除の対象となる活動を行う特定非常利活動法人を定めるものです。

委員会の審査

総務企画常任委員会

■平成25年度一般会計予算

問 市役所東側の臨時駐車場に土地区画整理事業の仮住居を建設予定と聞いているが、現在でも不足がちな駐車場の対策は。

答 現在より90台分の駐車スペースが減るため、西会館駐車場への誘導および土・日曜には職員駐車場を開放する。将来的には立体駐車場の整備も検討する。

問 新美南吉生誕百年記念事業の下宿先保全活用委託料の内容は。

答 南吉観光の目玉になる当時の下宿先の改修を行う。市内外から多くの南吉ファンの来訪を期待している。



南吉の下宿先(現在)

問 固定資産家屋評価資料電子化事務の内容は。

新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザ等緊急事態宣言がされたときに、市長が設置する対策本部について、必要な事項を定めるものです。

基金の設置などに関する条例

●市民協働推進基金の設置 市民協働の推進を図るうえで、NPO法人、市民活動団体などの活動に対し、財政的支援をするためのものです。

●中心市街地拠点施設整備基金の設置 中心市街地拠点施設の整備のために必要な資金を積み立てるためのもです。

都市公園条例の一部改正

都市公園法の改正および都市公園において禁止する行為などの見直しに伴うものです。

副市長の選任に同意

平成25年3月31日をもって辞職した副市長の永田進氏の後任に、浜田実氏(高浜市・58歳)を選任することに同意しました。

答 家屋資料・図面をスキャナーにより電子化することで、紙原本が廃棄可能となり、省スペース化が図られる。また、問い合わせに対して、資料の利用効率を高め、劣化防止を図ることができる。

経済福祉常任委員会

■平成25年度一般会計予算

問 産業空洞化対策事業(企業投資促進事業補助金)の平成24年度の実績と25年度の見込みは。また、予算が不足した場合の対応は。

答 県は3年間の事業として、市単独で補助を延長する予定はあるか。

答 平成24年度は2件の申請があり、1件に補助金を交付した。もう1件は操業開始に合わせて25年度に交付予定。25年度は、別枠分と合わせて8240万円の予算を計上した。補助金額や交付時期を見極めたうえで、必要な場合は、増額の補正予算をお願いする。

問 防災医薬品供給事業の医薬材料費と備品購入費の内容は。

答 避難所の備蓄品の更新と、避難所で不足するデジタル血圧計や蘇生器などを新たに購入する。

主な議案質疑

■平成25年度一般会計予算

●民生費

問 精神障害者ふれあい促進事業委託料として5万円計上されているが、委託先は。

答 精神障害を持つ方はひきこもることがあるため、気軽に寄り合える場所が必要である。中部福祉センターにフリースペースを設け、運営を「ふなの木会」に委託する。

●衛生費

問 高齢者肺炎球菌ワクチン助成の対象者を75歳以上とし、助成金額を3000円とした理由は。

答 対象を後期高齢者医療保険の加入者としたため、原則75歳以上だが、65歳以上で一定の障害のある人も含み、同等の資格要件を有する生活保護受給者も対象とする。助成金額は、インフルエンザ予防接種の助成と同様に、接種費用の約3分の1とした。県内の多くの市町村が同様な助成をしている。

●土木費

問 安城駅前デッキ耐震補強工事では、耐震改修とともに、老朽化したタイルも改修していくと聞いているが、どのような内容か。

答 耐震補強では、デッキに補強



安城駅前デッキ

●教育費

問 図書館施設管理事業の修繕料が200万円余と前年度よりも80万余増加しているが、その要因は。

答 通年の修繕費に加え、27年経過している空調設備の修繕および館内に無線LANを設置する費用を計上している。

問 中学校部活動指導事業補助金が前年度は353万円計上されていたが、平成25年度に計上されていない理由は。

答 全国でも愛知県のみで事業であったが、県が平成25年度から廃止の方向のため、本市も廃止する。平成24年5月の文部科学省通知から適当でないと判断した。

3月定例会に提出された議案などの審議結果

◎安政会13人 ◎市政クラブ7人 ◎新政みどり5人 ◎共産党2人 ◎公明党2人 ◎新社会1人

会派別賛否(○賛成、×反対)

安政会 市政クラブ 新政みどり 共産党 公明党 新社会

Table with columns for item number, description, result, and party votes. Includes items like '部設置条例の一部改正' and '平成25年度一般会計予算'.

市長提出議案

※議案名と会派名は、一部省略して記載しています。(共産党⇒日本共産党安城市議員団 公明党⇒公明党安城市議員団)



デンパーク西側の水田に描かれた田んぼアート(昨年)

問 都市農村交流事業の田んぼアートの内容は...

答 5月19日(日)に田植え、9月15日(日)に稲刈りを行う。見ごろの8月1日(日)にはデンパーク周辺で第2回全国田んぼアートサミットを開催し、その情報交換と日本デンマーク安城のPRをする。全国の20団体が参加の意向を示している。

市民文教常任委員会

■平成25年度一般会計予算

問 東日本大震災復興支援交流事業補助金が500万円計上されているが、何団体を想定しているのか。また、補助対象事業の選定審査については...

答 平成25年度も前年度と同様に、限定50万円で10団体分を予定している。審査は、より厳密に実現性・計画性の確認をしていく。

問 防災一般事業の中で、防災ラジオを含む予算2800万円余が計上されているが、その概要は...

答 防災ラジオは、消防庁からの地震など自然災害に関する情報などを全国瞬時警報システム(J-ALERT)により、ピッチFM電波で即時、通常放送に割り込み、緊急情報を伝達する。主電源が入っていれば、聴いていない状態やほかの放送を聴いている状態でも緊急情報を聴くことができる。今後1台2000円で1000台販売していく。



防災ラジオ

問 教育相談事業の予算が、前年度に比べて約半分になっているが、その理由は...

答 臨床心理士5人が臨時職員として相談事業に携わっている。そのうち2人を常勤職員にすることにより相談時間を増やす。事業費の減少は、雇用形態の変更により賃金支払いから給料支払いとなるため。

建設常任委員会

■都市公園条例の一部改正

問 市内の街区公園、近隣公園、地区公園の平均敷地面積は。また、新たに条例に追加された禁止行為とは、具体的にどのようなものか...

答 街区公園は70カ所で平均0.32ha、近隣公園は13カ所平均1.88ha、地区公園は4カ所平均4.37haである。禁止となる行為は、ゴルフの練習、エアガンなどが考えられる。

■平成25年度一般会計予算

問 路線バス補助事業で、名鉄バス2路線に補助をしているが、あんなるバスで同じ運行を代行した場合とで、費用対効果の側面での検討はしているか...

答 名鉄新安城駅、JR安城駅、更生病院間を結ぶ路線では、名鉄バスに約1200万円の補助をしている。あんなるバスで運行した場合、市の負担は約4000万円となり、名鉄バスへの支援の方が有利である。

■自転車購入費等補助金の予算

問 自転車の購入費等補助金の予算額が、前年度と比較して40万程減額となっているが、制度に変更があれば確認したい。

答 電動アシスト自転車の市場価格が下がったことや、近隣市の状況

況を考慮し、補助金の上限額を4万円から2万円または1万5000円に変更した。幼児2人同乗用自転車では、子供用ヘルメットを補助対象に追加し、通勤用自転車では、電動アシスト限定をTSMマーク貼付可能なすべての自転車を対象とする見直しをした。



幼児2人同乗用自転車

議会用語一口メモ

○討論

採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの意見を表明することをいいます。討論の目的は、単に賛否の意見を明らかにすることだけでなく、まだ賛否を決定していない議員および意見の異なる議員から自己の意見に賛同を得る意味があります。

代表質問のあらまし

所属議員3人以上の3会派の代表者が代表質問をしました。質問と答弁の一部を要約して、質問順に掲載します。



代表・一般質問の様子を録画視聴できます

代表・一般質問の録画映像をインターネットで配信しています(過去2年分)。「市議会のページ」の「議会映像ネット配信」から視聴できます。

代表・一般質問の様子は、質問終了後、おおむね2週間後からご覧いただけます。

市議会のページ⇒ [安城市議会](#)

<http://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/gikai/index.html>



安政会 武田文男議員

たけだ たかひと

平成25年度予算編成について

問 編成方針には当初予算額の規模は前年度並みとあるが、予算規模を571億円とした理由は。

答 円安の進行と国の経済対策重視の方針により、財源として市税収入の確保の見通しがついたため、小学校のトイレ改修などを計画よりも早めて実施する。その結果、総額で前年度当初予算から3億8000万円増額し、571億円とした。

問 財政調整基金は、できるだけ積み立てておくべきだと考える。基金についての考え方と目標額は。

問 南海トラフでの地震が発生した場合、西日本の全域が被災すると想定される。これまでのような被災地外からの支援は望めず、安城の産官学民が総力あげて立ち向かわなければ、この地域の復旧・復興はありえないと考える。そのため、オール安城による減災まちづくりのための会議体の設置が必要と考えるが、市の考えは。

答 社会情勢の変化や、緊急的な財政支出に対応できるように、基金の確保は重要と考えている。予算額のおおむね1割に当たる額の60億円程度を基金の目標額としたい。

答 昨年、「市民防災フェア60」を開催し、全体で50を超える団体の参加をいただき、産官学民それぞれが防災に対し共通認識を持って結束することができた。また、参加団体などからは、平常時においても相互関係を構築していく必要性があるという意見が多数あった。ご提案の減災まちづくりの協議会は、今後の防災・減災施策として必要と考えており、平成25年度中に設置していく。

問 国の平成25年度予算における本市の農業基盤整備への影響は。

問 市長の政治姿勢について

答 本市の県営土地改良事業は、9地区で事業費10億円余りの予定が11億2000万円余りに増額された。また、農地・水保全管理支

問 地方分権改革を進めるうえで、国と地方のあり方を今一度見直す時期だが、18万都市の首長としてどのような考えを持っているか。

答 国と地方の役割分担を見直す権限委譲や税源移譲については全国一律ではなく、地方の特色を生かせるよう、地方の判断で選択できる自主性の議論が進むことを期待している。

問 大震災を契機に地域と連携した防災教育の重要性が再認識されているが、市の考えはどうか。

答 避難所運営訓練の中で、自主防災組織と学校との協働を図っていききたいと考えている。



市民防災フェア60の風景



市政クラブ 松浦満康議員

八千代病院の増床計画について

問 八千代病院の増床計画に対する支援方針は。また、増加する患者数に対する駐車場不足問題に対して、どのように対応するのか。

問 大気汚染を引き起こす微小粒子状物質PM2.5の数値確認をどのように行っているのか。また、多くの自治体から測定局の増設要望が出ているが、本市の考えは。

答 県内では23カ所(2月12日時点)で監視測定を実施している。市内では安城農林高校が測定局となっており、時間ごとの測定結果が県のウェブサイトで公表されている。新たな測定局の設置は、現在のところ考えていない。



大気汚染測定所(市内)

環境施策について

問 電気自動車充電スタンドについて、市役所敷地内への設置を検討した経過は。また、新図書館の設備の中に設置してはどうか。

問 市民のスポーツ実施率と市内施設の利用状況は。また、新スポーツ振興計画策定における施設整備の今後の方針は。

答 充電スタンドは、現在、市内に12カ所あるが、市の施設には設置していない。市役所敷地内への設置の検討はしたが、課題があり設置に至っていない。今後、広域から集客のあるデンパークへの設置を検討する。新図書館では、充電スタンドの設置を含め、施設の環境性能の向上を重視した効果的なアイデアを民間に委ねていく。

答 平成24年度のスポーツ実施率は、3年前より向上する見込み。施設の年間利用率は、市体育館、スポーツセンターのアーリーナでは土・日曜が約90%、平日でも約80%とほぼ満杯状態。多目的グラウンドは土・日曜が約70%、平日でも約60%。総合運動公園内の施設は、年間約75万人が利用。平成25年度実施のアンケート結果を踏まえ、施設整備も併せて次期計画に反映していく。

平成25年度予算編成について

問 地域経済活性化策において、異業種・異分野・農商工連携など、既存の技術で新たな産業を創るオープンイノベーションへの取り組みを進めるべきだが、市の考えは。

問 部活動の指導における問題点と外部指導者の活用状況を問う。また、教育現場での体罰の現状と対応は。

答 中小企業コーディネーターによる

答 指導における問題点は、指導時間の確保や経験のある指導者の不足などがある。外部指導者として、市内で29人の協力を得ている。体罰については4件の報告があった。体罰の禁止については1月以降2度にわた



一般質問のあらまし

一般質問では12人の議員が質問しました。質問と答弁の一部を要約して、質問順に掲載します。



◆ 議会を傍聴しませんか

本会議や委員会は、当日受付で氏名と住所を記入するだけで傍聴できます。手話通訳や要約筆記を希望する人は、傍聴予定日の5日前までに申し込みしてください。また、本会議場では、FM補聴システムを導入しています。誘導コイル付き補聴器を使用している人は、音声聞き取りやすくなります。詳しくはお問い合わせください。



安政会  
今井隆喜議員

広域行政について

問 市長はマニフェストで「碧海5市合併を構想から具体計画にまで高め、現行の行政区域を超えた大きな行政改革の推進へリーダーシップを発揮します」としている。進捗についてどうか。

答 平成24年度に碧海5市の市長対談の開催を強く提案したが、各市の立場の相違もあり、見送ることとなった。また、5市に西尾市と幸田町を加えた6市1町で自治体クラウドについて協議を進めているが、現時点では各市の取組姿勢に相違点があり、課題があることを確認したところである。

公共施設の効率的運営について

問 指定管理者制度が導入されて10年が経過するが、評価はどうか。また今後の計画は。

答 評価は、市担当課では毎年、外部評価部会でも定期的に行っており、民間ならではの自主事業が展開され、適正であると評価されている。今後は、生涯学習関連施設で導入の可能性を検討していきたい。



市政クラブ  
松尾学樹議員

保育園事業について

問 本市は、待機児童ゼロだが、地区や個別に限定した場合、待機児童ゼロとは言えない状況にある。児童の人口バランスを考えた地区ごとの保育園整備もしていく必要があると考えるが。

答 地域の児童の人口バランスは考慮していくが、厳格な地区ごとの保育園整備を目指すのではなく、まずは受け皿づくりに取り組んでいきたい。

総合運動公園の利便性向上

問 総合運動公園の中央部には名鉄西尾線が走り、東西に分断されている。鉄道を高架化し、公園内に駅を設置すれば、公園利用者の利便性が向上するのではないかと。

答 高架化と駅の設置ができれば、利便性向上が図られるが、多くの費用を要し、課題も多い。まずは県に名鉄西尾線と安城高浜線との交差点部の高架化をお願いしていきたい。



陸上競技場から見たスポーツセンター



新政みどり  
辻山秀文議員

住宅街防犯カメラ展開事業

問 安城署管内の住宅侵入盗の総数は、平成24年は384件であり、前年と比べ50件も増加している。平成25年度の新規事業に、住宅街防犯カメラ展開事業が計画されているが、事業内容の詳細は。

答 犯罪発生件数を抑制する方策として、里・井端・石橋地区に防犯カメラ10台を設置する計画をしている。4月～5月を発注・契約設置期間、6月～翌年1月を運用期間、2月～3月を撤去・検証期間と考えている。



シェイクアウト訓練について

問 この訓練は、自発的に登録して、さまざまな場所にいる人が、メールを受信して一斉に参加する地震防災訓練である。平成25年度にシェイクアウト訓練を実施する計画はあるか。

答 現在のところ計画はしていないが、今後検討していきたい。



共産党安城市議員団  
深谷恵子議員

男女共同参画社会の実現を

問 市は2017年までに審議会などの女性委員の比率を32%とする目標だが、現在は25.6%。市の女性管理職は、168人中11人で6.5%だが、国の目標は20年までに30%である。市の取り組みは。

答 関係各課へ審議会への女性委員の登用を積極的に働きかける。若年層の女性職員割合は相当数おり、積極的に研修にも参加させ、管理職の割合が高まるよう努める。

65歳未満の重度障害者も介護手当の支給対象に

問 65歳以上の在宅ねたきり高齢者などに支給されている介護手当は、介護人の労をねぎらうものである。65歳未満の重度障害者を介護している場合にも支給を。

答 ねたきりなどの高齢者を介護する場合は制度であり、障害のある方には手当支給など別制度があるため、拡大は考えていない。

グループホームの夜間の安全を

問 市内7事業所中、1事業所で夜勤者が不足しているが、対策は。

答 毎月出向き、指導を続ける。



市政クラブ  
杉山朗議員

名古屋岡崎バイパス整備計画

問 デンソー安城製作所評価棟の工事着手や政権交代に伴う公共投資の拡充などの動きがある中で、バイパス整備の見通しは。また、国や県への具体的な働きかけは。

答 県によると、現時点での全線の供用時期は未定だが、安城市内の最重要整備路線として、できる限り早期の事業完了を目指しているとのことである。毎年、国や県建設事務所に対して要望会を開催し、早期整備をお願いしている。今後も県と協調しながら事業の促進を図っていく。

安城北部小学校の増改築

問 北部小学校は増築スペースがなく、校舎と体育館を合わせた2層式建築にする方針が示されている。今後の整備着手に向けた判断基準とスケジュールは。

答 今後の児童数の推移や少人数学級の拡大と影響を主な判断基準とし、平成25年度の実施計画で引き続き検討していく。



安城北部小学校



安政会  
二村守議員

生ごみ処理機について

問 バイオ菌で生ごみを分解するバイオ式生ごみ処理機を市で貸し出せないか。

答 バイオ式生ごみ処理機は、従来機と比べて処理能力や臭いの問題などで優れていると聞いている。モニター制度での貸し出しを検討していきたい。



バイオ式生ごみ処理機

仮換地課税の導入について

問 土地区画整理事業区域内の仮換地課税の導入が、平成27年度から予定されている。県内各市の仮換地課税の状況は。また、税の公平性の観点からはどうか。

答 事業施行中の29市のうち、23市、約8割が仮換地課税を導入している。仮換地の使用収益が開始されているのに、従前の土地に対して課税が続くことは、税負担の公平性に欠ける。



新政みどり  
大屋明仁議員

桜井駅周辺特定土地区画整理事業

問 事業の進捗状況と国の平成24年度補正予算の影響は。

答 平成24年度末の進捗状況は、道路築造率が63.9%、家屋移転率が54.7%である。また、桜井駅東側の2号駅前広場の工事をし、駅周辺の整備が完了した。

問 国の補正予算は1億6800万円余の内示があり、桜井駅前線などの道路築造工事と4戸の家屋移転に充当する。



2号駅前広場

問 保留地が売れていないと心配する声を聞く。保留地処分状況と、処分をより進める対策は。

答 現在までの保留地の処分状況は、64画地、7062㎡で、計画面積の12.6%である。平成24年度は、処分面積に対する売却率は約25%にとどまった。今後は不動産業界などにも周知を図るなど、より徹底したPR方法を検討していく。



共産党安城市議員団  
宮川金彦議員

### 子ども医療費などの福祉医療の有料化

**問** 愛知県は、市町村に対し行っている子ども、障害者、母子父子家庭、高齢者の福祉医療制度(医療費無料化)に、患者の定額負担と所得制限を導入する「見直し素案」を発表した。県医師会や愛知障害フオーラムなどが制度変更に対し、県内市町村議会の過半数が現行制度の存続・拡充を求める意見書を採択している。

**市**は「見直し素案」に反対すべきではないか。また、「見直し素案」が導入された場合の本市への影響は、**答** 受益者負担や応能負担の観点から、福祉医療制度を継続していくためには、受給者への配慮がされていけば、一部自己負担や所得制限を部分的に導入することもやむを得ないのではないかと考えている。「見直し素案」が導入された場合、現状よりも県の補助金が年間5000万円から1億円程度減少すると考えている。



安政会  
鈴木浩議員

### 油ヶ淵周辺南部地区の活性化

**問** 県営油ヶ淵水辺公園の建設を機に、地域連携組織を立ち上げるなど、安城南部地域の交流人口を増やし、活性化を図る必要があると考えるが、市の考えは。

**答** 南部地区の活性化に向けて、周辺地域全体のよりよい連携を図ることを目的に、地域連携組織について関係市と調整を行うなど、今後の検討課題と考えていく。



油ヶ淵

### あんくるタクシーについて

**問** 公共交通の空白地をつくらないうという考えから、あんくるバスに接続するあんくるタクシーを試験的に市内3カ所で開催している。現時点での利用状況は。

**答** 今年2月末時点での1日平均の利用人数は、里町地区0.6人、小川町地区1.2人、高棚・箕輪地区0.5人で、当初の想定より少ない利用状況である。今後、利用方法などの説明を随時行い、利用促進に努める。



安政会  
近藤之雄議員

### 歴史・公民の教科書について

**問** 教育基本法の改正で自国と郷土を愛するよう教育理念が見直された。現在安城市の中学校で使われている教科書は、基本法の趣旨が十分反映されていると考えるか。  
**答** 本市で使われている歴史・公民の教科書は、文部科学省の検定を通ったもので、採択にあたってもルールにのっとり、公正・公平に選定されており、教育基本法の趣旨が反映されたものであると考える。



中学校の歴史・公民教科書

### 障害者の就労について

**問** 障害者の就労について、どのような現状認識をもっているのか。  
**答** リーマン・ショック以降、特に一般就労では厳しい状態が続いている。平成25年4月から、障害者の雇用の促進等に関する法律に定める障害者の法定雇用率が、民間企業では18%から20%に引き上げられ、景気回復と併せて障害者雇用率の改善が期待されている。

### 全員協議会・委員会の主な活動状況

#### \* 全員協議会

● 2月28日 社会福祉協議会と都市農業振興協会(テンプルパーク)の平成25年度事業計画・収支予算について説明を受け、質疑をしました。

#### \* 総務企画常任委員会

● 2月7日 部会を開き、仮換地課税の導入について説明を受け、質疑をしました。

● 3月18日 第1回定例会で付託された7議案を審査し、原案どおり可決しました。引き続き部会を開き、市税条例の一部改正について説明を受け、質疑をしました。

#### \* 経済福祉常任委員会

● 3月15日 第1回定例会で付託された10議案を審査し、原案どおり可決しました。引き続き部会を開き、国民健康保険税条例の一部改正、中心市街地活性化基本計画の内閣府認定協議について説明を受け、質疑をしました。

#### \* 市民文教常任委員会

● 3月14日 第1回定例会で付託された5議案を審査し、原案どおり可決しました。



新社会  
石川翼議員

### 液状化時の避難所について

**問** 地域の約4分の1は、液状化の恐れが「極めて高い」「高い」とされる。作野学区を例にとると、避難所や福祉避難所が液状化の可能性が高い地域に立地している。市はこの状況をどう考えるか。また、各避難所の液状化対策は。

**答** 避難所は耐震性がある。東日本大震災で液状化被害を受けた千葉県香取市も耐震性のある公共施設は液状化による被害はなかった。本市の避難所は、杭基礎で建設しており、液状化しても建物に大きな被害が発生するとは考えていない。



作野福祉センター(福祉避難所)

### 認可外保育施設について

**問** 全国の認可外保育施設での死亡数は認可保育施設の2倍。いきなり大事故を起こすのでなく設備不備の指摘や立入りを受けているケースが多い。昨年本市で市民からの連絡や県による立入り回数。  
**答** 市民から施設の不備などの連絡はない。県の立入りも定期監査のみである。

#### \* 建設常任委員会

● 2月28日 市民文教・建設合同部会を開き、中心市街地拠点整備事業のPFI事業における特定事業選定および経過報告について説明を受け、質疑をしました。

● 3月13日 第1回定例会で付託された20議案を審査し、原案どおり可決しました。引き続き部会を開き、都市計画審議会審議案件、土地区画整理事業区域内における土壌汚染などについて報告を受け、質疑をしました。

#### \* 議会運営委員会

● 1月23日 平成25年度議会日程などについて協議しました。

● 2月25日・3月19日 第1回定例会の議事運営を協議しました。

#### \* 議会改革検討委員会

● 2月25日・3月19日 諮問事項「議員定数の削減」について協議しました。

#### \* 議会基本条例策定特別委員会

● 1月24日・2月6日・3月26日 条例案などについて協議しました。

#### \* エネルギー政策特別委員会

● 2月14日 マイクログリッドを活用したまちづくりについて勉強会を開きました。



公明党安城市議員団  
今原康徳議員

### 市有施設の長寿命化について

**問** 施設建物保全計画では、耐用年数は、何年で設定しているのか。  
**答** 小中学校の調査では、適切な修繕を施した場合、90年程度まで延ばせる結果が出ている。

### 防犯灯のLED化について

**問** 市内の防犯灯の設置・維持費と電気代を合計すると、年間約3830万円となる。10年間で4割経費を削減できるLED灯のリース方式を導入してはどうか。  
**答** 課題もあるため、当面は現行方式でいく。しかし、メリットもあるので先進事例を研究していく。

### 新美南吉生誕百年記念事業

**問** 地域活性化を進めるためのコミュニティへの支援の考えは。  
**答** 事業ごとに地域との連携を図り、新たな観光客の受け入れ体制や啓発事業の支援など、必要に応じた準備を進めていきたい。



結果報告書(素案)の検討をしました。

● 3月22日 平成24年度調査研究結果報告書を議長に提出しました。

#### \* 防災対策強化特別委員会

● 4月9日 平成24年度実施事業・平成25年度主要事業計画などについて報告を受け、質疑をしました。引き続き、浜岡原子力発電所の安全対策について勉強会を開きました。

### 議会改革検討委員会から議長に答申しました

本市議会では毎年度、議会改革検討委員会を設置し、議会改革の取り組みを協議しています。平成24年度は、諮問された「議員定数の削減」について協議し、3月19日に議長に答申しました。

● **答申内容** 議員定数は、近隣市および類似団体との比較ならびに社会情勢などを鑑みて、1名以上の削減をする必要があるとの結果になったが、削減数については継続協議とされ、次年度(平成25年度)に決定されたい。



近藤議長から武田委員長へ答申書を提出

## 意見交換会を開催

2月7日、半田市の新美南吉記念館を訪問し、両市の新美南吉生誕百年記念事業について、半田市議会と意見交換をしました。

## 全議員研修会を開催

2月28日、全国市議会議長会法制参事の廣瀬和彦氏をお招きし、「市議会議員のスキルアップ講座」と題した講演を聴講しました。議員の本質や議会基本条例の意義などについて、全国の自治体の事例を挙げた講義に熱心に耳を傾けました。

### ◆参加者の意見・感想など

- 議会基本条例について、考え方の方向性を伺うことができた。
- 地方議会にはそれぞれの地域性があり、地域の特性にあった改革や運営が重要だと感じた。
- 地方分権が進む中で、今まで以上に地方議会の役割が重要となることを認識した。



## 行政調査報告

※紙面の都合上、前号に掲載できなかった分を掲載します。

### \*議会運営委員会

● 日程 10月31日～11月2日

### ● 訪問先および調査事項

○ 新潟県長岡市を訪問し、シティホールプラザ「アオーレ長岡」および議会運営について調査した。「アオーレ長岡」は、市役所機能や市民活動機能などの複合施設である。市議会本会議場は、1階に配置され、壁面の一部はガラス張りとなっている。開かれた議会のひとつの手法として参考となった。

○ 栃木県足利市を訪問し、議会改革の取り組みについて調査した。

平成10年から議長の諮問機関の議会改革推進協議会を設置し、全議員で議会の組織・運営・諸制度などの検討をし、議会改革に取り組んでいる。議員定数の適正化については議論があるところだが、足利市議会の取り組みは一つの事例として参考としたい。

○ 東京都多摩市を訪問し、議会基本条例について調査した。条例素案完成から施行までの6カ月間に、関連規則や要綱を作成しており、単なる理念条例ではない、より実効性のある基本条例となっている。

## ケーブルテレビの録画放映

6月10日(月)・11日(火)・12日(水)(※)の一般質問の様子が、キャッチネットワーク106チャンネルで録画放映されます。

[放映日] 10日収録分 → 11日(火)午後6時  
11日収録分 → 13日(木)午後6時  
12日収録分 → 26日(水)午後6時(※)

※26日は会議が開催された場合のみ放映。

## 市議会だより編集委員会

◎ = 委員長 ○ = 副委員長

◎ 坂部隆志 ○ 杉山 朗  
法福洋子 石川 翼 松尾学樹 鈴木 浩  
二村 守 辻山秀文 今井隆喜 深谷恵子

ご意見・ご感想をお寄せください。

## 5月臨時会の開催予定

5月13日(月) 午前10時から開会予定です。

## 6月定例会の開催予定

6月7日(金) 開会  
10日(月) 一般質問  
11日(火) 一般質問  
12日(水) (一般質問予備日)※  
13日(木) 議案質疑  
17日(月) 建設常任委員会  
18日(火) 市民文教常任委員会  
19日(水) 経済福祉常任委員会  
20日(木) 総務企画常任委員会  
26日(水) 閉会

開催時刻はいずれも午前10時の予定です。  
※一般質問予備日に開催する場合は、市公式ウェブサイト「市議会のページ」の「会議予定」でお知らせします。  
※請願・陳情提出締切りは、5月29日(水)です。

【発行者】安城市議会 【編集者】市議会だより編集委員会 【宛先・問い合わせ】安城市議会事務局  
〒446-8501 安城市桜町18番23号 Tel. 71-2252 Fax. 77-8200 Eメール:giji@city.anjo.aichi.jp